



こんにちは

# 白子の議会

です

第95号

平成22年2月1日

編集発行  
白子町議会  
☎ 0475(33)2111



青のり収穫

## 第4回定例会

平成21年第4回定例会が12月9日に開催され一般質問は1名の議員が町政を質しました。

一般質問	2ページ
20年度決算認定結果報告について/賛成・反対討論	3～4ページ
平成21年度補正予算の概要について質疑応答	5ページ
白子町議会人事	6ページ

# 一般質問

## 町政をきく

今回の一般質問は1名が登壇し、地域医療問題、地域交通、学校給食、などについて質しました。

### 買い物サービス進捗状況は

市川隆子議員

議員 町で進む高齢化やバス路線のない地域もあり、高齢者は通院や買い物など生活への不安を持っています。

町は買い物サービスを始めましたが、進捗状況を伺います。

利用者拡大に十分な周知をしたい

町長 買い物サービスは、十二月一日、スタートしましたが、登録制にしたため十五名の登録者しかいません。今後利用拡大に向け周知を十分していきたいと思えます。

### 地域公共交通の取り組みは

議員 町長は三月議会で協議会立ち上げの方向で検討すると答弁しましたが、今後地域公共交通として取り組むのか伺います。



### 買い物サービスを軌道に乗せてから判断

町長 地域公共交通は今始めた事業の結果や様子を見ながら判断したいと思っておりますが、当面は買い物サービス事業を軌道に乗せることが第一だと思っております。



始まった買い物サービス

### 九十九里医療センターの位置づけは

議員 九十九里医療センターは平成二十六年開院の予定ですが、医療センター計画の中での長生病

院の位置づけと医療センターの位置づけはどのようになるのか伺います。また負担についての話はあるのか伺います。

### 三次救急の拠点と位置づけ

町長 九十九里医療センターは、地域医療再生計画で地域の三次救急を担う拠点として位置づけられ、長生病院は地域の二次医療の拠点病院と位置づけ、機能の充実強化を図るとされています。費用負担については、全く打診がありませんが、あれば皆さんと相談しながら対処したいと思えます。

### 給食センター建設の見通しと方向性は

議員 給食センターは、建物の老朽化が進み、三月には屋根の修繕が予定されています。今の施設が使用可能な期間内に施設を建設しなければならぬと思えますが、見通しについて伺います。また、町の児童、生徒

数が減少しているなかで、町長は自校方式も選択肢の一つと言われていますが、施設の方向性についての考えを伺います。



建設待たれる給食センター

### 自校方式も検討

町長 学校給食は、小規模の学校はほとんど自校方式になっていきます。今後子供たちの数も減ると予想されるので、自校方式も一緒に検討していくことが必要だと思っております。近隣の自校方式も十分に参考にしながら方向性を定めていきたいと思えます。給食に関しては、費用対効果だけでは判断できないと認識しています。

# 平成二十年度

## 決算審査特別委員会審査結果報告

委員長 今関勝巳

◇九月定例会において決算審査を付託され平成二十年度各会計は、次のとおり指摘要望事項を付して原案のとおり認定することに決定されました。

### 審査の対象

平成二十年度一般会計  
外六特別会計決算

### 審査の方法

予定された事業計画等が計画通り適正かつ効果的に執行されたか審査を行いました。

### 指摘要望事項

一、税の徴収方法の工夫や徴収体制の更なる強化に一層の努力を求め、今後の財政運営の財源確保に努め健全財政を堅持し

支出抑制に努め、効率的な行政施策を推進されるよう求める。



一、国民健康保険事業会計については、保険税が国保会計の根幹となる財源であり、現下の社会経済状況での徴収は困難を極めるが、今後とも適切な手段を持つて一層の努力をされるよう望む。

一、老人保健事業特別会計については、引き続き円滑に運営を望む。



一、後期高齢者事業特別会計については、平成二十年度から、開始された制度であり事業主体は、広域連合であるが円滑な運営を望む。

一、介護保険事業特別会計については、円滑に行われているが、保険料収入について不納欠損、未納額とも増加傾向にある。今後とも保険料収入の向上に努められたい。

一、休養施設特別会計については、指定管理者制度を導入し、事業収入が確保され施設の運用の健全化と有効利用が認められる。より存続可能な経営運営の基盤強化、充実に図られるよう努めていただきたい。



一、ガス事業特別会計については、経営状況は安定しており、かつ良好である。これからも引き続き効率的な運営の維持及び健全な運営を図り、安定供給、保守点検体制の強化、サービスの向上に努められたい。



## 決算に対する賛成・反対討論

### 【一般会計反対討論】

市川隆子議員

住民の暮らしが、厳しいなかで、町は独自に幾つかの子育て支援の施策などを、積極的に進めていることは、評価したいと思えます。しかし、町は郡内町村で実施している乳幼児医療費の無料化は、県に準じる独自の制度をつくっておりません。子育て親は誰でも元気に育ててほしいという思いで子育てをしています。今長引く不況が家計を直撃しています。こんなと

きこそ町は、住民の防波堤となり国や、県にも支援を求め、住民の暮らしを守る為にさらなる努力を求め、反対討論といたします。

### 【賛成討論】

齊藤豊彦議員

本決算は、議決された予算計画に基づき、各般にわたり着実にしかも効率的に予算執行されています。経常経費率も八七・七％であり公債費率も九・一％で、通常財政構造の健全化が保たれ、まさに健全財政と申せましよう。歳出面においては、堅実に展開され、産業、建設、教育、福祉関係等も事業計画どおり着実に執行され、努力もされているものである。また、計数及び内容においても決算審査特別委員会の報告においても適正であると認定しております。執行部は、決算審査特別委員会の要望事項に十分留意されることを望み本案に対し賛成をいたします。

### 【国民健康保険事業 会計反対討論】

市川隆子議員

国保世帯は所得の少ない方も多くいます。そういう方々は、大変な重税感を持っていて支払いも限界にきて、ぎりぎりの中で納めている人も少なくありません。滞納世帯にはそれぞれの事情もあると思います。払いたくても払えない世帯もあると思います。資格証明書も発行されており、窓口に取り来ないで無保険状態の家庭もあります。このような状況になったのは国の負担分が削られたことが最大の原因になっています。国保財政を健全に維持するためには、国庫負担をもとに戻すよう要望し、そして町民の支払い能力に応じた減免制度も整備することを求め反対討論とします。

### 【賛成討論】

河野豊議員

国民健康保険は、制度創設以来、国民皆保険制度の基盤をなす制度とし

て、重要な役割を担っていることとあります。しかしながら、急速な少子高齢化が進む中、医療施設の整備の充実や医療技術の高度化に伴う医療費の増加、さらに低所得者を多く抱える構造的な要因により厳しい状況が続いておりましたが本会計は平成十二年度以来の実質単年度収支が黒字に転じ被保険者が安心して医療を受けられるよう運営されており、さらには医療費の削減対策として平成二十年度より特定健診、特定保健指導事業にも取り組み、受診率向上に努めており賛成いたします。

### 【後期高齢者事業 特別会計反対討論】

市川隆子議員

この制度は、介護保険に続いて少ない年金から保険料を天引きや年齢で区別するなど最初から反対の声も多くありました。年金でぎりぎりの生活をしているのに容赦なく引かれ生活費をどう切り詰

めたらいいのか、これ以上は詰めようがないという声もあります。しかもこの制度は医療費抑制や見直しのときには保険料の改定があります。これ以上の高齢者負担はやめるべきです。このことを求め反対討論とします。

### 【賛成討論】

板倉正道議員

平成二十年四月から七十五歳以上の方が医療を受ける後期高齢者医療制度が施行され、高齢者の医療を国民全体で支えていくということで、現役世代と高齢者が共に支え合い医療を保障しており、高齢者が安心して医療が受けられるようになっております。この制度の運営は県内市町村で組織された広域連合が行うため、効率的で安定した運営を行っております。受けられる給付は、老人保健制度で受けていたときと同様の給付が受けられます。更に、高齢者の方についても、今まで同様に人間ドックの助成を行い、適

切な健康づくりを目指して支援しております。また、所得の低い方には後期高齢者医療保険料の軽減も拡大されており賛成といたします。

### 【介護保険事業 特別会計反対討論】

市川隆子議員

高齢者の方々は、長い間社会のために働き、年をとつたら一万五千元以上の年金から保険料を引かれ、サービスが必要になつて利用しようとするば利用料負担が重くのしかかつてきます。介護保険は、利用者が増えたり高齢化が進めば値上げにつながります。そして、措置のときと比べれば国庫負担も減額されています。この制度は、介護を社会が支えることできた制度ですが、利用料が払えない人は利用できません。誰もが、安心して利用できるよう国に対し国庫負担をもとに戻すよう要望し、町は独自に減免制度をつくることを求め反対討論といたします。

【賛成討論】

三橋吉辰議員

介護保険制度は、平成十二年度施行以来、広く国民に定着し、地域におきましては、高齢者の暮らしを支える身近な社会保険制度として多数の町民が利用するまでに成長してまいりました。平成二十年度は、第三期介護保険事業計画の最終年度として、要介護状態になることを未然に防止するための地域支援事業の充実や介護サービス給付適正化に努め、持続性かつ自律性のある制度として維持できるよう取り組んできたことは、高く評価できます。今後は、平成二十年度に策定された第四期介護保険事業計画の基本理念である高齢者が住みなれた地域でその人らしい生活を営めるよう、地域社会づくりの実現に邁進するよう要望し賛成討論いたします。



# 平成21年度補正予算の概要について質疑応答

【市川隆子議員】

議員 新型インフルエンザの予防接種の補助で、生活保護世帯と住民税非課税世帯は無料だと思いますが、接種方法を伺います。

保健福祉課長 事前に町に申請し、該当者には証明書を発行します。それを医療機関に持っていく場合は、会計時は無料になります。



議員 一歳から十八歳までの接種は、償還払いでいいのかわかるか。

また、生活保護世帯、住民税非課税世帯へはどのように周知を図っているのかわかりますか。

保健福祉課長 一歳から十八歳までは償還払い方式です。

周知の方法は、新聞折り込みでお知らせしました。償還払いも可能です。



【板倉正道議員】

議員 人事院勧告による一般職の給与等に関する改正において、採用されてもまもない職員給与はどのような状況か伺います。

総務課長 採用まもない一級から三級職員、四十八名については現行通り、それ以外については引き下げの方向です。



議員 新型インフルエンザ予防接種の対象者二十五％が発症しておるが、発症者に対しても接種をするのかわかるか。

保健福祉課長 A型については、新型・季節型両方ありますが九十％は新型の様です。再検査はしないで医師や保護者の判断により接種する方向です。

又新型インフルエンザ予防接種料金は、各医療機関一律です。



【大多和正之議員】

議員 中学校の体育館を建て直すのに、本体工事三億七千万円、解体、連絡通路の工事で二千四百五十万円、テニスコート新設等含んで総額幾ら位か伺います。



教育課長 中学校の体育館の工事費として三億九千四百三十八万円になります。但し、新年度でテニスコートをつくる予定で概算になります。一面七百万円位で二面つくりたいと思いますので、千四百万円と言う事でこれは見積が出ていないので、若干差異が出ると思います。



